

令和4年 設計課題 事務所ビル

I. 設計課題

3. その他の施設等

- (1) 屋上庭園(300㎡以上)を2階に計画し、通路、ベンチ及び植栽等を設ける。
- (2) 駐車場は、車椅子利用者用1台分、サービス利用者用1台分を設ける。
事務室利用者用は、機械式駐車場に30台分を設ける。
- (3) 駐輪場は、利用者用として10台分を屋外に設ける。

この課題は、ある都市の市街地の鉄道駅に近い敷地において、7階建ての「事務所ビル」を計画するものである。本施設は、地域住民と文化交流を図り、子育て支援を目的として建設を併記した事務所ビルを計画に当たり、省エネルギー及び二酸化炭素削減に配慮し、環境に配慮した設計を行うこととする。

1. 敷地及び

- (1) 敷地
- (2) 敷地
また、
- (3) 敷地
それ
- (4) 電気
- (5) 地盤
なお、
- (6) 気候

2. 建築物

- (1) 構造
構造
- (2) 床面
地下
この計
算入
床面
- (3) 「高層
「建築
- (4) 設備
エレ
- (5) 機械
地下
ター
- (6) 要求
下表

会員講座内で公開

部門	室	面積	備考
事務所部門	※事務		
	※事務		
	※事務		
	※事務		
テナント部門	事務		
	休憩		
	湯		
	便		
	※テナ		
	子育て		
	子供		
共用部門	託児		
	貸		
	コ		
	ラ		
	休憩		
設備	便		
	ゴ		
	受		
	消火		
設備	不活性化		
	屋上設備スペース	設ける。 ・機器のメンテナンスに配慮し、階段のうち1ヶ所以上を屋上に通じるように計画する。	計約200㎡
	その他設備	・その他、必要な設備を適切に計画する。	適宜
・倉庫については適切に計画する。 ・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。			

配慮する。
等に配慮する。
に配慮する。

性にも配慮する。
面寸法とする。

設備を計画する。

。

もよい。)に、黒鉛筆

入する。
文庫や矢印等により

程度)

室、託児所、
火ポンプ室、

列のないものを

に用いる防火設備
について記入する。

及び

線で図示

各、その一に至る

各、その一に至る

点鎖線で図示
位置を点線で図示

断面とする。
高、基準階床高
位置にかかわらず

線勾配及び

式を記入する。
ものとする。
を図示する。

記述する。
入する。

- (5) 基礎構造及び既存撤去地盤について考慮したこと
- (6) 耐震計画及び耐力壁について考慮したこと
- (7) 設備シャフトの計画について考慮したこと
- (8) 地震時の災害の設備計画において、設備の損傷防止及び停電への対応策について考慮したこと
- (9) 建築計画における二酸化炭素排出抑制における具体的に採用したこと及びその概要について記述する



会員講座内で公開

【防火区画に用いる防火区画の位置及び種別】

防火区画(面積区画、堅穴区画等)に応じて、要求される所定の防火区画の位置及び種別を記入すること

特定防火設備

特

建築基準法第2条第九号の
二ロに規定する防火設備

防